

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212AF04	中国語 B	中国語基礎コミュニケーション	李 婧	2 年次前期	1
科目区分	基礎	キーワード	助動詞、補語、数字(年月日、時刻)などを使った中国語		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	中国語 A				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	中国語 A に続けて、みなさんが将来業務において活かせるような中国語スキルの基礎固めを行います。さまざまな場面で使用される中国語の表現を学び、中国語での基礎コミュニケーション力を養います。また、これまで学んだ事項を踏まえ、中国語基礎文法の完成を行います。同時に、中国社会や日中異文化コミュニケーションについて理解を深めていくことも目的にします。				
到達目標	① 基礎的なコミュニケーション中国語を聞き取ることができる、発話できるようになる。 ② 基礎的な文法構造や単語で書かれた中国語の文章を読めて書けるようになる。 ③ 辞書や参考書を使って自ら中国語の学習を継続していける力を涵養する。 ④ 中国語検定準 4 級に合格できる中国語力を養う。				
講義内容	テキストに沿って、テキスト文の朗読、文法の説明と解説、会話練習を行います。中国語の簡体字・文章を書けるように練習を行います。適宜、映像や写真なども使い、中国の歴史・文化や人々の生活に関心を持つ機会もつくりたいと考えています。また、交通・観光場面で用いられる中国語も紹介します。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	ガイダンス	中国語 A の復習、年月日・曜日、ほか		
	第2講	第十一課：家庭訪問	文法(助動詞の“要”、主述述語文、比較の言い方、ほか)		
	第3講	第十二課：買い物	文法(助動詞の“可以”、動詞の重ね型、方向補語、ほか)		
	第4講	第十三課：道案内	文法(“怎么”、前置詞の“离”、“从”、“往”、“得”、ほか)		
	第5講	第十四課：中秋節	文法(年月日、曜日の言い方、“快～了”、“了”、ほか)		
	第6講	第十一課～十四課のまとめ	重要文法事項の復習		
	第7講	第十五課：食事の前は	文法(時刻の言い方、時間量の言い方、禁止表現“別”、ほか)		
	第8講	第十六課：手作り料理	文法(助動詞の“会”、結果補語、“不”と“没”、ほか)		
	第9講	第十七課：カニの季節	文法(助動詞の“能”、前置詞“在”、“再”、可能補語、ほか)		
	第10講	第十五課～十七課のまとめ	重要文法事項の復習		
	第11講	第十八課：スキー場	文法(様態補語と程度補語、前置詞の“用”、“一下”、ほか)		
	第12講	第十九課：おみやげ	文法(“有点儿”“一点儿”、進行の表し方、“是～的”、ほか)		
	第13講	第二十課：空港まで	文法(“把”構文、“被”構文、存現文、“祝”祈る言葉、ほか)		
	第14講	第十八課～二十課のまとめ	重要文法事項の復習		
第15講	総まとめ	第十一課～第二十課までの重要事項の復習・確認			
指導方法	テキストにそって進めていきます。一回授業の大まかな流れとしては、前回の復習→その日のポイント解説→単語の確認→テキスト本文の読解と朗読→文法説明と解説→会話練習→まとめの順に進めます。				
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間30分程度の学習時間が目安である。				
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1時間30分程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	本試験(筆記試験)50%、平常点(小テスト・授業内課題・発言)50%として総合的に評価します。				
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	授業内で解説する。				
テキスト	『日中いぶこみ交差点』(2017)、相原茂・陳淑敏・飯田敦子著、朝日出版社 (ISBN: 978-4-255-4586-9) (※エッセンシャル版 [青色の表紙] ではなく、通常版 [緑色の表紙] を入手してください)				
参考文献	授業内で紹介します。				
実務家教員による授業		教員 経 歴			
特記事項	受講生の状況や希望によって授業進度などを調整する場合があります。				